

Cubase SX/SL 3.1.1.944

追加機能：

ミキシング

- ・ (SX) VSTミキサーを使用した外部インストゥルメントのミキシング/モニタリング。
- ・ 複数チャンネルの一括コピー/ペースト。
- ・ 新しいパンナー・モード (Equal Power) の追加
- ・ パンナー・バイパス機能追加。
- ・ ミキサーでキー・コマンド対象の設定が可能になりました。
- ・ MIDIトラックのインスペクターに、サブセクションヘルパーティングしたVSTインストゥルメントのインスペクターを表示できるようになりました。

ファイルとフォーマット (読み込みと書き出し)

- ・ (SX) プール・ウィンドウの検索機能を拡張。
- ・ (SX) メディアを含めずにトラック・ファイルの書き出しが行なえるようになりました。
- ・ (SX) トラック・ファイル読み込み時に、読み込むトラックの指定が可能になりました。
- ・ (SX) Nuendo Dolby DigitalとDTS Encoder対応。

録音と再生

- ・ レコーディング後にコントローラーのリセットができるようになりました。
- ・ システムダウン時のレコーディング中のオーディオ・データの復帰機能 (完全な動作を保障する機能ではありませんのでご注意ください。)
- ・ プリカウントで独立してテンポ、拍子の設定が可能になりました。
- ・ トラックファイルをインポートする際にサンプリングレートの変換が可能になりました。

編集

- ・ (SX) 外部インストゥルメント/FXのフリーズ機能が搭載されました。
- ・ のりツールで1クリックして複数のパートの結合が可能になりました。
- ・ 選択したトラック上の選択したパートの以降にあるパートをすべて結合できるようになりました。
- ・ カーソルポジションを簡単に視認できる十字カーソルオプションを追加しました。
- ・ テンポトラックに拍子設定を保持したまま「時間」の削除、挿入が行えるようになりました。
- ・ “プロジェクト (Project)”メニューに“トラックの複製 (Duplicate Track)”コマンドを追加しました。
- ・ MIDIトラックパラメーターのフリーズ機能を搭載しました。
- ・ パート分解時の表示を最適化しました。
- ・ 選択したノートだけにレガートを適用できるようになりました。
- ・ 選択したノートの前後にある同じオクターブのすべてのノートが選択できるようになりました。
- ・ インフォラインで複数のオーディオイベントの移調が可能になりました。

プロジェクト/一般

- ・ (SX) VSTコネクションに外部インストゥルメントオプションを追加しました。
- ・ (SX) VSTインストゥルメントトラックに外部インストゥルメントが表示可能になりました。
- ・ MIDIトラックのインスペクターに、ルーティングした外部インストゥルメントのインスペクターを表示可能。
- ・ VSTプラグインエフェクトのMIDIデバイスヘルパーティングしたMIDIトラックにオーディオトラックのインスペクターを表示できるようになりました。
- ・ (SX) 外部FXにお気に入り機能を追加しました。
- ・ (SX) 外部インストゥルメントでお気に入り機能を使用できます。
- ・ (SX) CPU負荷を軽減するスクラブモードを追加しました。
- ・ 外観に新規オプションを追加しました：彩度、コントラスト、ブライトネス
- ・ (SX) レベルメーターのカラー定義が向上しました。
- ・ 自動トラックカラー設定を追加しました。
- ・ オートセーブ機能が向上しました。
- ・ トラックのフォルダリング機能を追加：選択したトラックの状態の切り替え、トラックの開閉、折りたたみの状態の切り替える
- ・ トラックを選択することなくトラックのサイズ変更が行なえるようになりました。

- Mac OS XのQuartz 2D用グラフィックカードに対応。
- デュアルコアとマルチプロセッサのPC環境に対応。
- システムダウン時のエラー・ファイルの修復機能を搭載しました（完全な動作を保障する機能ではありませんのでご注意ください。）。

MIDIとオーディオ

- (SX) 外部インストゥルメントへのMIDI出力のレイテンシー補正ができるようになりました。
- (SX) 外部FXでMIDIデバイスが使用可能になりました。
- (SX) 外部インストゥルメントでMIDIデバイスが使用できます。
- MIDIコントローラー・レーンのポリリューム・データをオートメーション・データに変換できるようになりました。

Studio Connections

- (SX) Studio Connections | Audio Integrationに対応。

修正点：

- PhotoJPEGエンコードのビデオをDecklinkビデオカードを使用して再生する際に生じる不具合
- ファイルをデスクトップからプール、あるいはプロジェクトに、ドロップせずドラッグのみを行い続けるとアプリケーションがクラッシュする不具合
- Studio Manager (Studio Connections) を使用している複数のプロジェクトを開閉するとクラッシュする不具合
- [Ctrl]+[Tab]キーを使用して複数のウィンドウを切り換える機能が動作しない不具合
- "MIDIデバイスパネル (MIDI Device Panels)" のオートメーション読み込みを行うとクラッシュする不具合
- 初期設定で"プロジェクト/ミキサー選択の同期 (Sync Project & Mixer Selection)" をオンにして、[Shift]+クリックで最上・最下トラックを選択してすべてのトラックを選択すると、最端のミキサーチャンネルのみが選択される不具合
- フォルダ内のパートを他のフォルダやサブフォルダに移動するとクラッシュする不具合
- プロジェクトの読み込み時において認識されなかったデバイスマップのオートメーションデータのコントロール先が失われる不具合
- (SL) MIDIトラックのMIDIプラグイン・スロットは4つまでです。
- (SL) 新機能"トラックの折りたたみ (Track Folding)" が利用できない不具合。
- 標準ループモードから反転ループモードに切り換えるとプロジェクトがフリーズする不具合
- あるWindows XPシステム環境下において、マルチプロセッシングを有効にするとクラッシュを生じる不具合
- プロジェクトにおいて行方不明のビデオファイルを再生すると、GUIがフリーズする不具合
- スコアエディタ: [Ctrl]+[R]を押すとクラッシュする不具合
- (SX) プロジェクト開始時間を負の時間に設定すると、OMFの開始時間がずれる不具合
- (SX) OMFのポリリューム情報がオートメーション・データとして正確に読み込まれない不具合
- (SX) OMFサブコンポジションからのクリップ読み込みに失敗する不具合

Cubase SX/SL 3.1.0.933

修正点：

- "初期設定 - 全般 - 起動時 (Preferences - General - on startup)" の"デフォルトプロジェクトを開く (Open Default Project)" が機能しない不具合
- プロジェクトを読み込んだ際、各チャンネルの"隠す (Can Hide)"、"狭く/広く (narrow/wide)" 設定が正確に復帰できない不具合 (バージョン3.xで作成したプロジェクトに対して修正)
- Mackie Controlデバイス設定において、"自動選択オン (Enable Auto Select)" 設定が保存されない不具合
- プールの"不使用のメディアを除去 (Remove unused Media)" をマクロに組み込んだ場合に、正常動作しない不具合
- "トランスポーズ (Transpose)" ダイアログにおいて"範囲外のピッチを整理 (Keep Notes in Range)" オプションが破損している不具合
- (SX) OMEの書き出しダイアログにおいて、"全ての情報を含める (Export All to one File)" と"イベントを統合 (consolidate events)" をオンにした場合に、各イベントのハンドルの長さがOMFファイルに保存されない不具合

- 2つのプロジェクトを開き、プロジェクト間を切り換えた際に、トラックコントロールのインサートバイパスボタンを右クリック (PC) / [ctrl]+クリック (Mac) して、使用中のプラグインの一覧を表示させるとクラッシュする不具合
- 複数のトラックにおいて同じ入力バスからレコーディングする際に、入力VUメーター表示が行われない不具合
- あるオーディオインターフェース (ECHO LaylaやSoundscape Mixtremeなど) において、ASIOディレイ補正が行われず、結果、MIDIとオーディオの同期が失われる不具合
- 複数のオーディオトラックに、複数の入力バスを割り当ててレコーディングできず、1つのトラックにしかレコーディングされない不具合
- ページの中ほど、または「次のページ」の初めの部分において、新しい調号/音部記号を挿入できない不具合
- スコアエディタにおいて調号を挿入した後にクラッシュする不具合
- オフラインプロセッシングのプラグイン設定を変更する際に生じた不具合
- レコーディングセッションがプレイバックされている際に、Arpache SXを使用するとノートが止まらなくなる不具合
- オーディオパートエディタ: 範囲ツールを使用した後にミュートツールを使用すると機能しない不具合
- スコアエディタにおいて“N”連符を作成するとクラッシュする不具合
- ミキサーにおけるインサートエフェクトのバイパス状況が、保存したとおりに復元されない不具合
- スコアエディタにおいて音部記号を変更すると、声部に影響する不具合
- スコアエディタにおいて、コピーされたトラックの歌詞が間違っただけのものになる不具合
- インポートトランスフォーマーにMIDIイベントをドラッグするとクラッシュする不具合
- Cubase 5.xのソングを読み込むとクラッシュする不具合
- 複数のトラックサポートボタンを同時に押すとクラッシュする不具合
- FXトラックのオートメーショントラックを作成し、そのFXトラックのプラグインの再読み込みや削除を行うと、アプリケーションがクラッシュする不具合
- プレイバックの際にMIDIパートの各ベロシティ値が反映されず、すべてのイベントが同じベロシティ値でプレイバックされる不具合
- プラグイン情報ウィンドウにおいてDirectXプラグインをオフにしても、オフライン処理メニューでDirectXプラグインが有効のままになる不具合
- スコアエディタにおいて、表示するノートの長さが適切に反映されない不具合
- 付点音符の和音において、付点が整列しない不具合
- オーディオワーブをオンにしている場合に、テンポトラックにおいて傾斜カーブを作成してプレイバックを行うとクラッシュする不具合
- スコアエディタにおけるドラムマップ設定が記憶されていない場合がある不具合
- スコアエディタを閉じる際に、MIDIとオーディオがしばらくドロップアウトする不具合
- 多くのイベントにおいてワーブ、ミュージカルモード、トランスポーズ、クロスフェードの各処理が行われている場合に、オーディオイベントの編集が遅くなる不具合
- トラックの書き出し/トラックファイルの読み込みにおいて、開始時間が間違っただけで設定される不具合
- フォルダトラックにおいて、フォルダ内でコピー/ペーストを行うと、ペーストされたイベントの位置がずれる不具合
- フォルダトラックの複製を行うと選択が外れる不具合
- “複製 (Duplicate)” コマンドを使用すると、イベント/パートのグループが解除される不具合
- フォルダトラックにおいて作成されたグループのシグナルバスから、サウンドが聴こえない不具合
- プロジェクトウィンドウにおける複数のフォルダを展開できない不具合
- スコアエディタにおいて、音符の符頭の形状を変更できない不具合
- ピッチエンベロープにおいてMPEXを使用すると、レイテンシーがシフトする不具合 (- このシフトはタイムストレッチ時に補正する必要があります)
- スコアエディタにおいて、ノートを低音部譜表に移動すると整列しない不具合
- オフセットが行われているイベント (オーディオイベントをカットしたり、後半部分にプロセッシングを行ったものなど) に対してMPEXアルゴリズムを使用して処理すると、間違っただけの結果になる不具合
- マルチトラックレコーディングを行う際、ズーム率によってアプリケーションがフリーズする不具合
- MIDIインサートFXについて、Mackie Controlディスプレイと表示が異なる不具合
- デュアルCPUのコンピューターにおいてハーパースレッドをオンにした場合に、アプリケーションを完全に終了させる事ができなかつたり、プロジェクト読み込みの際にクラッシュする不具合
- フリーズしたVSTインストゥルメントのトラックを含むプロジェクトを読み込むと、アプリケーションがクラッシュする不具合
- プロジェクトを保存せずに閉じる際に、作成したファイルを削除するオプションで“はい (Yes)”を選択すると、アプリケーションがクラッシュする不具合
- スコアエディタにおいて、2段目の譜表で音部記号を変更するとアプリケーションがクラッシュする不具合
- スコアエディタのページモードにおいて、MIDIステップ入力を使用すると生じる不具合
- プール: ステレオファイルをモノファイルに変換するとクラッシュする不具合
- プール: オーディオファイルに対してテンポ情報を即時に保存できない不具合

- ・4拍のカウントインを行った後に、MIDIプリレコードが機能しない不具合
- ・ダイアログをキャンセルする際に[Esc]キーを押すと、望ましくない動作を生じる不具合
- ・プレイバック中に、VSTコネクションウィンドウでグループを除去するとアプリケーションがフリーズする不具合
- ・パッチ名称リストを使用した場合に、書き出すMIDIファイルにプログラムチェンジ情報が含まれない不具合
- ・プロジェクトを読み込んだ後にランダムにクラッシュする不具合
- ・ワークスペースを呼び出すと、各トラックのソロ状況が変更してしまう不具合
- ・スコア - 複数のパートを選択すると、ステップ入力を適切に行えない不具合
- ・スコア - 非常に多数のノートの削除を取り消すと（Undo）、アプリケーションがクラッシュする不具合
- ・スコア: 一群のノートを横方向に微調整すると、符尾の長さが変化してしまう不具合
- ・スコア: 矢印キーでノートを選択した場合、ノートの選択状況（ハイライト表示）が不正確になる不具合
- ・スコアエディタにおいて、ページレイアウトに際するいくつかの不具合
- ・ビデオクリップを使用して編集する際、シャトル再生を行うとロックアップしてしまう不具合
- ・スコアエディタにおいて、ある譜表から他の譜表にイベントを移動すると、符尾が間違った状態になる不具合
- ・パートをコピーすると、スコアエディタの各記号が失われる不具合
- ・スコアエディタのテンポ記号が間違ったテンポ値を表示する不具合
- ・スコアエディタの“隠す（Hide）”機能が適切に機能しない不具合
- ・VSTコネクションウィンドウにおいて物理入力を選択せずに、モニタリングをオンにするとアプリケーションが不安定になる不具合
- ・ある状況下において、ファイルを負の数の長さで移動/リサイズすることが可能となり、断続的にクラッシュする不具合
- ・サラウンドパンニングの際にゲーム・ジョイスティックを使用すると、フリーズする不具合
- ・ビデオ [PC版のみ]: Windowsシステム上でQuickTimeビデオプレーヤーを使用した場合に、早送り、スクロールなどの際に、サムネイルが表示されない不具合
- ・Cubase 3.xにおいて、レコーディング時のレイテンシーが変化する不具合 - バッファサイズが高いとレイテンシーが高くなる（負の値に）
- ・キーエディタを開いたままオートメーションを書き込むと、書き込みが終了しない不具合

Cubase SX/SL 3.0.2.623

追加機能：

- ・プレイヤートラックの状況もプロジェクトファイルに保存されるようになりました。
- ・“外観（Appearance）”オプションが追加されました。これによりメーターなどの表示がカスタマイズできるようになりました。

修正点：

- ・複数のイベントのボリューム、オートメーション、またはリンクされたミキサーのフェーダーなどを操作した際にdBの関連性が保持されない不具合
- ・ジェネリックリモートでオーディオトラックの操作をおこなうとフリーズする問題が解消されました。
- ・オーディションチャンネルのコンフィギュレーションを変更（例：5.1からステレオに変更）するとミキサーの表示がすぐに更新されない不具合
- ・初期設定の“エディタのリンク（Link Editor）”がMIDIリストエディタで機能しない不具合
- ・サラウンドパンナーを開いた状態で“Ctrl+W”のショートカットを使用してアプリケーションを閉じるとクラッシュする不具合
- ・“同期の設定（Synchronization）”で“タイムコードソース（Timecode Source）”を“ASIOオーディオデバイス（ASIO Audio Device）”としている場合、トラックを“録音可（Record enabled）”に設定して録音ボタンを押しても再生しかされない不具合
- ・ディアルモニター的环境下でプロジェクトを保存して、それをシングルモニター的环境下で開いた際にいくつかのウィンドウが消失してしまう不具合
- ・イベントのリアルタイムタイムストレッチがサンプルエディタのテンポ定義ツールを反映しない不具合
- ・Mac版のみ：印刷ダイアログのマージン設定が無視される不具合

- ・“ファイルを保存用に整理 (Prepair Archive)”をおこなった後、フリーズした際に作成されたオーディオファイルが消去できない不具合
- ・送信先をオーディションチャンネル以外に設定をおこなった場合でも、“試聴 (Listen)”ボタンを押した時点で、ディフォルトアウトプットバスの1番目のセンドスロットの送信先がオーディションチャンネルに戻ってしまう不具合
- ・日本語版でテキスト入力が正常にできない不具合
- ・プロジェクトの読み込み後、オーディオチャンネルのセンドの“バイパス (Bypass)”ボタンが機能しない不具合
- ・“レーン並べる (LanesFixed)”レコーディングモードでクロスフェードをアンドゥするとエラーの原因になる不具合
- ・(Mac OS X) QuickTimeビデオの再生時、初期設定の“ビデオ画像をサムネイル表示 (Show Video Thumbnails)”がオンになっている状態でシステムパフォーマンスが限界になれば不定期にクラッシュしてしまう不具合
- ・フェードインまたはフェードアウトがクロスフェードに重なったイベントのあるプロジェクトをOMFに書き出せない不具合
- ・“範囲を詰めて削除 (Delete Time)”機能を使用するとクラッシュする可能性がある不具合
- ・“Date Format 1”が使用されると、“名称の変更 (Rename)”が機能しない不具合
- ・プロジェクトウィンドウ右上の (“X”) ボタンを押して、アプリケーションを終了すると、クラッシュする不具合
- ・MIDIパートを分割すると、情報ラインの“移調 (Transpose)”と“ベロシティ (Velocity)”がリセットされる不具合
- ・プールからドラッグ&ドロップすると間違ったチャンネルタイプになる不具合
- ・間違ったバージョンの“REX Shared Library.dll”が使用されていた不具合
- ・トラック録音を行う際の挙動がおかしくなる不具合
- ・(SX) 拡張ミキサー表示の際、“狭い (Narrow)”設定のMIDIチャンネルにMIDIメーターが表示されない不具合
- ・イベントのボリュームとレベル・オートメーションのレベルが“00”の時に詰まってしまう不具合
- ・“スコアドラムマップを使用 (Use Score Drum Map)”をオンにした後にドラムエディタを開くとクラッシュする不具合

Cubase SX/SL 3.0.1

追加機能：

- ・新しいリバーブプラグイン “ROOMWORKS” を追加しました。
- ・(SX) “外部エフェクトプラグイン (External effect Plug-in)”ウィンドウに“Ping”ボタンを追加しました。これは外部デバイスのレイテンシー遅延量を計算し、遅延補正量を自動設定するものです。
- ・トランスポートバーにピークレベルインジケータを追加しました。
- ・(SX) オーディオチャンネルのインサートプラグイン、およびVSTインストゥルメントのパラメーターを、各種MIDIデバイスからコントロールできるようになりました。
- ・ヒットポイントの編集機能を改良しました。(ツールがダイナミックスイッチとなりました)
- ・トラック内で編集 (Inplace-Editor) “時のツールバーを、拡張キー ([Alt]/[Option]キー) を使用して開くと表示状態に固定するオプションを追加しました。
- ・“初期設定 (Preferences) - VST”に、“グループチャンネル: ソースチャンネルもミュート (Group Channels: Mute Sources as well)”の項目を追加しました。

修正点：

- ・ASIOドライバをリセット/変更するとクラッシュする不具合
- ・プールまたはライブラリから波形をサンプル・エディタで開いた際にタイムワープ・ツールを使用するとクラッシュする不具合
- ・テンポトラックがアクティブの時に複数のパートをコピーした場合 (PPQ)、コピー先が不正確になる不具合
- ・テンポトラック: カット/コピー/ペーストが不正確になる不具合
- ・インサートエフェクトオートメーションが動作しない不具合
- ・フリーズを行うと、VSTインストゥルメントのオートメーションレーンの順番が入れ替わってしまう不具合
- ・MIDIトラックをVSTインストゥルメントに割り当てた際に、プロジェクトを閉じ、再度開くと、割り当てが失われてしまう不具合

- MIDIデバイスを除去してもMIDI出カリストからは除去されない不具合
 - 新しい同期の設定 (Sync Setup) ダイアログで、ASIO PP同期 (ASIO PP Sync) の項目が現れない不具合
 - QuickTimeのプレイバックが正確に開始せず、またスムーズに行われない不具合
 - プラグイン情報ウィンドウにおいて、スクロールバーが現れない不具合
 - タイムストレッチツールを使用してタイムストレッチを行った場合、不正確になる場合がある不具合
 - プレイオーダートラック: プレイオーダーエディタ内において、プレイオーダーにしたがって再構成 (flatten play order) ボタンをクリックした際に、深刻な問題が生じる場合がある不具合
 - プレイオーダートラック: 停止しないとプレイオーダーがループ再生される不具合
 - リアルタイムオーディオワーブをフリーズするとクラッシュする不具合
-
- MIDIプラグイン Step Designer の pattern change オートメーション情報が書き込まれない不具合
 - ピッチシフト (Pitch Shift) の試聴時に、エンベロープ精度を変更するとクラッシュする不具合
 - 隙間をつめる (Close Gaps) : オーディオスライスが余分に長くなり、オーバーラップが現れる場合がある不具合
 - 入力チャイルドバスを除去するとクラッシュする不具合
 - すべてリセットを行うとVSTインストゥルメントがクラッシュする不具合
 - すべてのパートを選択した場合にクロスフェードを編集するとクラッシュする可能性がある不具合
 - サンプルエディタ: ある程度のズーム率がないとヒットポイントを編集できない場合がある不具合
 - WMVビデオファイルの読み込み: オーディオの抽出が行われない不具合
 - プレイオーダートラック: テンポチェンジ情報が含まれている場合に、プレイオーダーの再構成を元に戻すと (Undo - [Ctrl]+[Z])、オーディオエンジンが停止する不具合
 - オフラインプロセッシング/プラグイン項目がオーディオメニューに現れない不具合
 - ミキサーを常に前面に表示 (Always on Top) に設定するとクラッシュする可能性がある不具合
 - チャイルドバスを追加するとクラッシュする不具合
 - トラック内で編集 (Inplace-Editor) : トラック内で編集 (Edit Inplace) ボタンをクリックするとクラッシュする不具合
 - FXチャンネル設定において、オーディオチャンネル設定のコピー/貼り付けを行うとクラッシュする不具合
 - 同期の設定: MMCのMIDIポートの変更後、OKをクリックしても正確に設定されない不具合
 - ASIOデバイスの割り当ての不整合が生じる不具合
 - (SX) VSTコネクションでASIOデバイスポートの割り当てを行うとクラッシュする不具合
 - Generic Remote: 録音 (record) トランスポートコマンドを割り当てるとクラッシュする不具合
 - 再生しながらサラウンドパンナーを変更すると、マスターからシグナルが出力されなくなる不具合
 - .mid ファイルを読み込むとクラッシュする不具合
 - VSTコネクション設定が壊れる不具合
 - 作業ディレクトリにファイルをコピー (Copy Files to Working Directory) を行うとディスクの空きスペースを間違えて作成してしまう不具合
 - 作業ディレクトリにファイルをコピー (Copy Files to Working Directory) が行われない不具合
 - デフォルトプロジェクト (default.cpr) を読み込むとクラッシュする不具合
 - 入力モニタリングがオンの場合に、オーディオチャンネルをサラウンドチャイルドバス割り当てなおすとクラッシュする不具合
 - ヒットポイントからマーカーを作成 (Create Markers from Hitpoints) を行うとエラーが起こる不具合
 - 初期化されていないASIOデバイスに変更するとクラッシュする不具合
 - ステレオファイルを2つのモノトラックに読み込むと間違ったパン設定になる不具合
 - Cubase VST 5ソングを読み込むとクラッシュする不具合
 - Audition チャンネルにおいてボリュームとASIO割り当てが記憶されない不具合
 - キーエディタ: VSTインストゥルメントのMIDIスルーが行われない不具合
 - オーディオレコーディング: 一度に100トラックのレコーディングを行うと不正確になる不具合
 - Cubase/Nuendo 3.xでCubase/Nuendo 2.xプロジェクトを開くと、同期の設定 (sync setup) のすべての設定が失われる不具合
 - ヒットポイントの編集を行うとクラッシュする不具合
 - オーディオレコーディング: パンチアウトが正確に行われない不具合
 - スコアエディタでカラーの選択 (Select Colors) 設定を行うとクラッシュする不具合
 - デバイスパネルからパラメーターを削除するとクラッシュする不具合
 - MIDIデバイスチャンネルの編集にクラッシュする不具合
 - (Mac OS X) 一度に複数のトラックをレコーディングすると、長さが不正確になる不具合
 - ピッチシフト (Pitch shift) - MPEX: フォルマントを修正 (formant correction) が逆の結果になる不具合

- ・“タイムワープ (TimeWarp) ”: プロジェクトにテンポベースのオーディオファイルとテンポチェンジ情報が含まれているとクラッシュする不具合
 - ・“ヒットポイント検出 (Hitpoint Detection) ”: 3チャンネル以上のインターリーブファイルでは動作しない不具合
 - ・ビデオプレイヤー: QuickTimeがインストールされており、これを選択すると、“適用 (Apply) ”ボタンがグレー表示される不具合
 - ・同期の開始時刻に“00:00:00:00”以前を使用できない不具合
 - ・リアルタイムピッチシフト: オーディオファイル上でリアルタイムピッチシフトの調整を行うとクラッシュする場合があります不具合
 - ・“VSTエンジン詳細設定 (VST Engine Expert Settings) ”において“デフォルト (default) ”をクリックするとアクセス違反を生じる不具合
 - ・Cubase 5との互換性: パン、EQ、センドの各オートメーションが動作しない不具合
 - ・アクティブなプロジェクトを切り替えるとクラッシュする不具合
 - ・“外部FX (External FX) ”: ASIOドライバを切り替えるとクラッシュする不具合
-
- ・センドFXを含んでいるCubase VST 5ソングを読み込むとクラッシュする不具合
 - ・ (Mac OS X) REXファイルの読み込み - ほとんどのファイルを読み込めない不具合
 - ・プログラム起動時における“VST Multitrack”の初期化中にクラッシュする不具合
 - ・ (Mac OS X) OMF読み込み - OMFファイルを読み込んでからプログラムを閉じるとエラーメッセージが現れる不具合
 - ・“プリレコード (Pre-Record) ”: レコーディングがオンになるとクラッシュする不具合
 - ・ (Mac OS X) “マルチプロセッサ対応 (Multi Processing) ”をオンにするとCPUピークが生じる不具合
 - ・ (Mac OS X) Mac CoreAudioのバッファサイズ (“audio bay”設定) がされない不具合
 - ・VST System Link: “デバイス設定 - Audio Bay - System Link”において、ASIO出力設定できない不具合
 - ・VST System Link: マスター側でスクラブを行った場合、スレーブ側のポジションが間違ってしまう不具合
 - ・すでに“Auto-Q”をオンにしているプロジェクトを開くと、“Auto-Q”が適切に動作しない不具合
 - ・VST System Link: VSL MIDI入力/出力ポートが反対になってしまう不具合
 - ・“ビデオファイルのオーディオを置き換え (replace audio in video file) ”を行うとビデオ再生ができない不具合
 - ・オーディオチャンネルの入力バスを[Alt]/[Shift]キーを使用して選択するとクラッシュする不具合
 - ・プールにおいて、Broadcast WaveファイルをWaveファイルに変換できない不具合
 - ・オーディオトラックのフリーズを行う際、まれにオーディオパートをスキップしてしまう不具合
 - ・YAMAHA Studio Managerを起動するとクラッシュする不具合
 - ・ (Mac OS X) VSTインストールメントのフリーズを行うと、トラック間のタイミングがずれてしまう不具合
 - ・オフラインプロセッシング: テンポベースのオーディオファイルでオフラインプロセッシングを行うと無音状態になり (表示、実音ともに)、クラッシュする場合もある不具合
 - ・ (Mac OS X / SX) 閉じる際にクラッシュする不具合
 - ・スクラブ (ジョグホイール) を使用してクラッシュする不具合
 - ・Mac版プロジェクトをPC版で読み込んだ場合 (あるいはその逆)、UV22HRプラグインが見つからない旨のエラーメッセージが表示される不具合
 - ・オーディオトラックのトラックディレイにおいて“-” (負) の値を受け付けられない不具合
 - ・スコアエディタにおいて、パートをレコーディングすると複数の深刻なエラーを生じる不具合
 - ・MIDIエディタを閉じるとクラッシュする不具合
 - ・ (Mac OS X) スコア - 印刷/プレビュー時にクラッシュする不具合
 - ・外部FXのASIOポート割り当てが記憶されない不具合
 - ・ (Mac OS X / SX) MIDIデバイスマネージャーにおいて“インストール済みデバイス (installed device) ”を除去するとクラッシュする不具合
 - ・既存ではないワークスペースを呼び出すとクラッシュする不具合
 - ・ヒットポイント/テンポベースモード: ヒットポイントの検出後にテンポベースモードをオンにするとクラッシュする不具合
 - ・サンプルベースのVSTインストールメントをフリーズしてから、そのプロジェクトをPC-AからPC-Bに転送し、再度PC-Aに戻した場合、フリーズの内容が失われてしまう不具合
 - ・ (Mac OS X) “プレイオーダーにしたがって再構成 (Flatten play order) ”した際に、長いノートが作成され、クラッシュする不具合
 - ・ (Mac OS X) 外部FXのリターンバスが常にモノラルになる不具合
 - ・オフラインによる“オーディオミックスダウン書き出し (Export Audio Mixdown) ”が非常に遅くなる不具合
 - ・不完全な“ミキサーマップ (Mixer Maps) ”を読み込むとクラッシュする不具合

- Studio Managerコンポーネントにおいて“RESET ALL”を行うとクラッシュする不具合
- センドをグループチャンネルに割り当てると左チャンネルのみが再生される不具合
- スコア: 複数のトラックを編集した場合、“譜表の設定 (Staff Settings)”が適切に動作しない不具合
- VSTミキサーが開いている時、“すべてリセット (Reset All)”コマンドを使用するとクラッシュする不具合
- オーディオミックスダウンの書き出し時に“Step Designer”のシーケンスが含まれない不具合
- 新規MIDIデバイスのチャンネルを除去するとクラッシュする不具合
- VSTインストゥルメントフォルダのインスペクターでVSTインストゥルメント自体を選択した際に、トラックリストにおいてVSTインストゥルメントフォルダの開閉を行うとクラッシュする不具合
- 非常に稀に、プログラムの起動時に“Child Already Registered”のエラーメッセージが現れ、起動を拒絶される不具合
- Generic Remote: 汎用リモートデバイス (Generic Remote) からVSTインストゥルメントの各パラメーターに割り当てることができない (読み込んだVSTインストゥルメントがデバイスリストに現れない) 不具合
- サイクルモードがオンの場合、ビデオをドラッグする際に時間が掛かる不具合
- 1つのトラックにおいて複数のレーンをドラッグするとクラッシュする不具合
- “プレイオーダーにしたがって再構成 (Flatten Play Order)”において“重複するイベントを削除 (Delete Overlaps)”をオンにするとクラッシュする
- プログラムがサンプルベースのVSTインストゥルメントを使用したプロジェクトを同時に複数開いた場合に、プロジェクトの1つを閉じると、プログラムが停止してしまう不具合
- OMF: ワープが行われたオーディオを含むCubase/Nuendoのクリップが適切に書き出されない不具合